



#02 株式会社diffeasy  
代表取締役社長 白石 憲正さん

Q. diffeasyさんについて教えてください

「むずかしい（difficult）をかんたん（easy）に」という経営理念のもと、様々な企業の課題解決に向けて、オーダーメードでシステムを作っています。IT業界は、使い手の人たちに対して、どうう難しく提供する必要があるかずっと思っていて、人工知能、ビックデータ、ブロックチェーン等難しいIT技術が突然やってきて、これがトレンドだから、ついでこない人が悪い、というような空気…、そうではなく、ITの方から使い手に歩み寄る会社を作りたい、という想いでこの会社を作りました。おかげさまで借入もな決算は2期連続黒字化を達成しました。これから新たな事業モデルにも挑戦したいと考えています。

Q. 起業されたきっかけは?

元々大学時代から起業に興味がありました。大学卒業後、まずは社会人として一人前になろうと日本IBM㈱へ就職し経験を積みながらも、会社の看板がなくなった時に自分にはどんな価値が残るのかということを問い合わせていました。看板がなくても勝負できるか試してみました。途中、このまま準備で終わってしまうのではないかとも思った時期もありましたが、最後は勇気を振り絞り、周囲に「起業します」と宣言しながら退路を断ちましたね。起業には情熱や熱量、想いがとても重要だと思います。



Q. 起業して良かったこと、変わったことは?

本当に良いチームが組成されると自信を持って言えるんですね。メンバーと話していると、まだ具体的なテーマが決まっていない段階でも、これから何かが起きる、というワクワク感があります。起業して一番変わったのは責任感です。会社員時代と違い、起業する自由度が一気に広がり、見る風景が変わります。ただそこで、何でも自由にやると今後は軸が潰れる。何度も痛い目を見ながら、企業理念やミッションの重要性というものを日々体感しています。

Q. スタートアップカフェ(スタカフェ)の魅力について

起業を決めたものの、どういふ会社を作るのか、メンバーをどうするか、悩むことが多いです。まさか弟も会社を作るも思っていませんでした。起業相談を始めたからは、判断に迷った時にすぐに相談に行くところ、スタカフェに通いやすい場所にオフィスを構えて何度もいました。第三者の見解も含めて、コンセプト設定からチーム組成までオロロしていただき、大変有難かったです。FECC(福岡市雇用労働相談センター)の弁護士相談よく利用させていただきました。スタカフェの魅力は、いつでも気軽に相談できる場が準備されていることではないでしょうか。

会社情報

株式会社diffeasy  
設立／2015年10月  
社員数／8名(2017年11月現在)  
住所／福岡県福岡市博多区祇園町8-13  
第一・プリンスビル1F The Company



代表取締役社長 CEO  
白石 憲正さん(写真右:兄)  
取締役副社長 COO  
白石 篤司さん(写真左:弟)

## 毎週木曜 個別相談DAY!! 無料相談

各専門家への  
相談受付時間  
17:00～／18:00～／19:00～ 税理士・日本政策金融公庫  
18:00～／19:00～ 行政書士・司法書士・弁護士・弁理士

相談予約はお電話か受付で  
**080-3940-9455**

【オフィスをお探しの方へおすすめ】『1回の相談会』(予約はお電話もしくは受付にて)／保証金減額支援などに保証くんNEXT』第1木曜日、17・18・19時より

### 福岡市スタートアップ人材マッチングセンター

**START UP  
MATCHING**  
— FUKUOKA CITY —



### 人材マッチングの対象となる スタートアップ企業

- 創業5年以内の企業・個人事業主
- 一定の第二創業に取り組む企業\*

創業から5年を超える企業等に対しても、ご登録の上、相談対応や企業情報の発信などを実行する支援メニューもあります。お気軽にお問い合わせください。

\*既存事業と異なる事業分野に取り組む企業などが対象です。

なお、本サービスは株式会社ドーガンが提供しております。  
有料職業紹介事業許可取得 許可番号:40-ユ-300550

採用・雇用の悩みを  
無料で弁護士等に相談できる  
雇用契約や就業規則の見直しもできます。

**080-1001-4675**

※相談時間はお電話でご確認ください。



福岡市雇用労働相談センター

**STARTUP CAFE**  
Tel 080-3940-9455

福岡市中央区大名2-6-11Fukuoka Growth Next 1F (旧大名小学校内)

Open 10:00 - 22:00(年末年始除く)(相談最終受付は21:00まで) / Mail fukuoka@startupcafe.jp

設備 無料Wi-Fi、電源、コピー機(有料)、セミナー付随機器利用(プロジェクター、スクリーン等)

福岡市サイト「福岡市の起業・創業応援サイト・創業するなら福岡市!」

<http://sougyou.city.fukuoka.lg.jp> [創業 福岡] で検索!

#福岡市スタートアップカフェ

発行／福岡市スタートアップカフェ 編集長／吉見 喜志(福岡市スタートアップカフェ) デザイン／南野 佐代子(株式会社 九時TSUTAYA)



※本誌の無断転載・掲載禁止

# STARTUP CAFE PRESS

2017 vol.11



## イノベーションの生まれる スタートアップ国家 イスラエル なにがそんなに凄いのか



イベントレポートvol.02

### 「フードビジネスマッチング」

スタートアップカフェメンバーインタビュー #02  
株式会社diffeasy 白石憲正さん

## イノベーションの生まれるスタートアップ国家、イスラエルのなにがそんなに凄いのか

イスラエルで年に1回開催されるイノベーションフェスティバル、「DLD：テルアビブ」に訪問しました。



### State of Israel / Tel Aviv-Yafo

イスラエルと聞いて、どのようなイメージでしょうか？

ユダヤ、地中海のビーチリゾート：テルアビブ、エルサレム、嘆きの壁、死海…四国程の国土に800万人程度の人口、10年前までは観光の色合いの強い国家でしたが、近年では、海外からのスタートアップ投資額（国民一人あたり）が世界一になるなど、スタートアップが非常に盛んな国として注目を集めています。

周囲の国とも長らく戦争状態にあるイスラエルでは、軍事技術を背景としたテクノロジーを、民間転用する方向に舵を切り、軍隊出身の優秀な若者たちが、非常に早いスピードでスタートアップを立ち上げては、グローバル企業への売却を達成しています。アメリカ同盟国のため、日本との関係も良く、イスラエルのテクノロジーを生産するパートナーとして、日本のものづくり産業が現地でも高く評価されていました。イスラエルが、世界有数のスタートアップ国家になった背景は何なのでしょうか。それは、国家の成長戦略としての舵が大きくなっていることがあげられるでしょう。右に挙げられるような、「よく出来た」エコシステムが出来上がっているように見受けられます。

### スタートアップシーンを象徴するイベント『DLD：テルアビブ』



▲ DLDの会場MAP。多数の企業が参加。

DLD テルアビブは、そんなイスラエルのスタートアップシーンを象徴するイベントで、地元のスタートアップ企業たちはもちろん、Google、Facebook、Microsoft、などといった名だたるグローバル企業が出展し、優秀なスタートアップとのマッチングが行われ、今年は日本からも200名ほどが参加した模様です。イベント期間中は、主要道路や美術館など様々な場所でセミナーやトークセッションが開催され、ビジネスや、テクノロジーから、まちづくりや政治に関する話題まで、様々な立場の人人がイスラエルのスタートアップ産業について、ディスカッションを繰り広げていました。

人々が自民族の国家を持たなかったユダヤ人による若い国家である上に、旧ソ連崩壊後には100万人近くの移民

を受け入れてきた歴史もあり、多様性を受入れ、成長のエンジンとしていく環境を作っていくなくてはならなかつたことが、イスラエルの失敗を恐れない起業家精神につながったのではないかと、強く感じることが出来ました。

「スタートアップ企業や起業家だけがスタートアップの文化を作っていくのではない。」  
日本における福岡市の役割、ひいては福岡市における個々人の役割においても、非常に示唆に富む国家であることは間違なく、最先端のテクノロジーはもちろん、それが生まれてくる環境、その環境を作ってきた人々についても、福岡市でスタートアップに携わる方々には是非知ってほしい地域です。



▲ エントランスはDLDのフォトスポット。



▲ 各々のブースには人が絶えません。



▲ グローバル企業も多数のセッションを開催。



▲ シティサミットでは、デモクラシーについて語られていました(驚)



#### イスラエルの“スタートアップ国家”としての成長戦略

- ・軍事技術の民間転用を開放し、積極的に特許を獲得し売却する。
- ・行政も事業買収に課税することで、スタートアップ支援へのインセンティブを持っている。
- ・高校卒業後、兵役を経て大学に進学するので、学習・開発へのマインドセットが出来上がっている。
- ・優秀な部隊に入るために、サイバーセキュリティ教育が幼少より盛んである。
- ・優秀な部隊の卒業生には積極的に投資が集まる環境が出来ている。

すたかふえ

## EVENT REPORT

vol.02

福岡市スタートアップカフェ（スタカフ）で定期的に開催される様々なイベントを、レポート♪

### 『フードビジネスマッチング』

福岡をはじめ、九州エリアの農家や加工品生産者とシェフ、飲食店オーナー、バイヤーを中心とした、食に関わるスタートアップ事業者との情報交換、ビジネスマッチングの場として、イベントを開催しました。

第1回目 8/21(月)

12組の出品者が参加され、事業者の方々と情報交換を行いました。なかには、中国と取引している通関士の方とベットフードの方がマッチングしたり、出品者同士の交流も図ることができました。



第2回目 10/27(金)

前回に引き続き、九州エリアの農家、加工品生産者とシェフ、飲食店オーナー、バイヤーを中心とした、食に関わるスタートアップ事業者約80名が参加され、情報交換やビジネスマッチングを行いました。



参加者の声  
・即、売り上げに繋がりそうな案件が2件ほどあり、今後、飲食店を開業する方への宣伝になりました。  
・福岡在住の様々なジャンルで活躍されている方々とお会いできました。

### “LOCAL”の価値を見つめ直す「九州パンケーキ」九州から世界への挑戦!

登壇者：有限会社 一平（九州パンケーキ）代表取締役 村岡浩司さん

第2回目のビジネスマッチング終了後は、特別ゲストとしてお越しいただいた「九州パンケーキ」のオーナーであり、宮崎の廃校を利用しインキュベーション施設「MUKASA-HUB」を立ち上げられた村岡浩司さんに登壇いただき、九州パンケーキに込めた想いと今後の事業戦略など、大変貴重なお話を伺うことができました。

「九州パンケーキ」は、小麦、雑穀など素材は全て九州産で作られているパンケーキミックスで、アルミフリー膨張剤使用、乳化剤・香料・加工澱粉は一切不使用のため、子どもでも安心して「もちもち」「ふわふわ」の絶妙な食感を楽しむことのできるパンケーキミックスです。2013年には「地場もん国民大賞」金賞、2015年に「九州未来アワード」海外事業部門大賞の受賞、「フードアクションニッポンアワード2014」商品部門入賞、「料理マスター大賞」The Wonder 500に商品認定されるなど、各方面での評価も非常に高く、九州、日本を代表するブランドとして、メディアにも日々取り上げられています。そのパンケーキミックスはいかにして作られたのか、その背景には、口蹄疫、新燃岳噴火、鳥インフルエンザなど、次々に宮崎を襲った厄災があり、苦境に陥った事業の不振からなんとか立ち直ろうと、新しい分野での事業構想を練っていたそうです。発売から5年が経ち、いまや、宮崎、九州を飛び出し、台湾やシンガポールを中心として、世界で26店舗の「九州パンケーキカフェ」のフランチャイズ契約を結ぶなど成長を続けられています。

大都会や大企業が世界の豊かさを牽引していた時代が終わり、これからは、ローカルから個性豊かなビジネスアイデアが生まれていく。そんな時代のシンボリックなモデル事業を目指すため、あえて「九州」にこだわってビジネスを展開するというブランドに込められた想いや、全ての事業を「農業」という文脈で考えるというビジネスを展開する際の判断軸とされているポイント、海外進出に当たり日本との価値をいかにして「見える化」していくかというブランディング戦略の重要性など、フードビジネスのみならず、あらゆるスタートアップに参考となるヒントを沢山いただきました。

ビジネスを行なう上の「信用」と「信頼」の違い、これからそれぞれの人が手に入れるべき未来価値についてなど、村岡社長の熱い想いとメッセージに聴講されていた方々全員が引き込まれていました。

今後も、このようなマッチングイベントや、特別ゲストを招いてのセミナーを順次開催していきます！

詳細はフェイスブックページでご確認ください！



What's?

MUKASA-HUB

思い出が残る学び舎を、ベンチャーや起業家が集まる地域ビジネスのコミュニティとして蘇らせたい。そんな思いから、移転廃校となってしまった校舎（旧宮崎市立穆佐（むさ）小学校）をリノベーションして、新しい息吹を吹き込むもう一つの試みで作られたインキュベーション施設です。ドロップインでも利用できるコワーキングラウンジやミーティングラウンジのほか、地域農業の研究やフードビジネスに利活用できるキッチン完備のフードラボもあります。

住所：宮崎県宮崎市高岡町小山田字裏 973 番地 2

電話：0985-83-0306

営業時間：月曜日～土曜日 10:00～18:00 日曜定休

今後のイベントにも乞うご期待!!